

科目名	総合日本語中上級						
科目名(英)							
単位数	13単位	時間数	195時間	担当者	村上陽子		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年)1年						
授業概要	N2～N1レベルの語彙や文法を学ぶとともに、ある程度まとまった文章を読み、それについて日本語で意見交換をする。高等教育機関で学ぶのに必要な日本語力を総合的に伸ばす授業を行う。また、日本語能力試験の対策授業、模擬試験も随時実施する。						
授業形態	講義:	○	演習:		実習:		
					実技:		
						※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		N2～N1レベルの言葉・文法を覚え、使うことができる。	
	○	○		○		N2～N1レベルの文章を読むことができる。	
	○	○		○		日常身近に体験する出来事や社会的な話題について、感想を述べるができる。	
	○	○		○		異なる視点や考え方を持つ相手とも、興味・関心を持って情報や意見の交換ができる。	
テキスト・教材 参考図書	嶋田和子監修 『できる日本語中級』 アルク 2019年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1～10	第13課				教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	11～20	第14課				教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	21～30	第15課				教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	31～40	第16課				教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	41～50	第17課				教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	51～60	第18課				教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	61～80	JLPT対策				教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	81～90	第19課				教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
	91～98	第20課				教科書の該当範囲を読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)	
評価方法	(1)授業の中で確認テストを実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	確認テスト	◎	◎		○		50%
履修上の注意							

科目名	読解中上級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	村上陽子		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年)1年						
授業概要	日本語能力試験N1に出題される形式の問題を使用して、N1に合格できる読解力を養成する。幅広い話題について書かれた新聞の論説や評論、論理的に複雑な文章や抽象度の高い文章、内容に深みのある読み物などに挑戦する。						
授業形態	講義:	○	演習:		実習:		
					実技:		
	※ 主たる形態:○ その他:△						
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		生活・仕事などいろいろな話題で、説明文や指示文などを読んで、内容が理解できる。	
	○	○		○		評論、解説、エッセイ・小説などを読んで、因果関係や理由、概要や筆者の考え方などが理解できる。	
	○	○		○		複数のテキストを読み比べて、比較・統合しながら理解できる。	
	○	○		○		社説、評論など抽象性・論理性のあるテキストを読んで、主張や意見がつかめる。	
	○	○		○		広告・パンフレット・ビジネス文書などの情報素材の中から必要な情報を探し出すことができる。	
テキスト・教材 参考図書	・菊池富美子他 『スピードマスターN1 読解』 Jリサーチ出版 2011年 ・福岡理恵子他 『新完全マスター読解 N1』 スリーエーネットワーク 2011年						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	内容理解(短文)				事前に指定された箇所を読み、問題を解いておくこと。(1時間)	
	2	内容理解(中文)				事前に指定された箇所を読み、問題を解いておくこと。(1時間)	
	3	内容理解(長文)				事前に指定された箇所を読み、問題を解いておくこと。(1時間)	
	4	統合理解				事前に指定された箇所を読み、問題を解いておくこと。(1時間)	
	5	主張理解(長文)				事前に指定された箇所を読み、問題を解いておくこと。(1時間)	
	6	情報検索				事前に指定された箇所を読み、問題を解いておくこと。(1時間)	
	7	模擬試験 第1回				事前に指定された箇所を読み、問題を解いておくこと。(1時間)	
	8	第1部 評論・解説・エッセイなど①				事前に指定された箇所を読み、問題を解いておくこと。(1時間)	
	9	第1部 評論・解説・エッセイなど②				事前に指定された箇所を読み、問題を解いておくこと。(1時間)	
	10	第2部 広告・お知らせ・説明書きなど				事前に指定された箇所を読み、問題を解いておくこと。(1時間)	
	11	第3部 実戦問題 内容理解(中文)				事前に指定された箇所を読み、問題を解いておくこと。(1時間)	
	12	第3部 実戦問題 内容理解(長文)				事前に指定された箇所を読み、問題を解いておくこと。(1時間)	
	13	第3部 実戦問題 主張理解				事前に指定された箇所を読み、問題を解いておくこと。(1時間)	
	14	第3部 実戦問題 統合理解/情報検索				事前に指定された箇所を読み、問題を解いておくこと。(1時間)	
15	模擬試験 第2回				事前に指定された箇所を読み、問題を解いておくこと。(1時間)		
評価方法	(1)定期試験(筆記)を実施する。(2)授業の中で確認テストを実施する。 以上を下記の観点・割合で評価をする。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	確認テスト	◎	◎		○		50%
履修上の注意							

科目名	聴解中上級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	村上陽子		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年)1年						
授業概要	JLPT N1対策用教材を使用し、各問題の特徴と正答を導くためのポイントを学ぶ。 スキルを学び、試験形式の問題を解くことでN1に合格できるための聴解力を養成する。						
授業形態	講義:	○	演習:		実習:		
				実技:		※ 主たる形態:○ その他:△	
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		具体的な課題解決に必要な情報を聞き取り、次に何をするのが適当か選択できる。	
	○	○		○		事前に示されている聞くべきことをふまえ、ポイントを絞って聞くことができる。	
	○	○		○		テキスト全体から話者の意図や主張などが予測できる。	
	○	○		○		質問などの短い発話を聞いて、適切な応答ができる。	
	○	○		○		長めのテキストを聞いて、複数の情報を比較・統合しながら、内容が予測できる。	
テキスト・教材 参考図書	<ul style="list-style-type: none"> ・中村かおり 福島佐知 友松悦子 著 『新完全マスターN1聴解』 スリーエーネットワーク 2011年 ・青木幸子 他 『スピードマスターN1聴解』 Jリサーチ出版 2017年 						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	「即時応答」のスキルを学ぶ				事前に指定した箇所を予習してください。(1時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	2	「課題理解」のスキルを学ぶ				事前に指定した箇所を予習してください。(1時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	3	「ポイント理解」のスキルを学ぶ				事前に指定した箇所を予習してください。(1時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	4	「概要理解」のスキルを学ぶ①				事前に指定した箇所を予習してください。(1時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	5	「概要理解」のスキルを学ぶ②				事前に指定した箇所を予習してください。(1時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	6	「統合理解」のスキルを学ぶ				事前に指定した箇所を予習してください。(1時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	7	模擬試験第1回				事前に指定した箇所を予習してください。(1時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	8	課題理解				事前に指定した箇所を予習してください。(1時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	9	ポイント理解				事前に指定した箇所を予習してください。(1時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	10	概要理解①				事前に指定した箇所を予習してください。(1時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	11	概要理解②				事前に指定した箇所を予習してください。(1時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	12	即時応答				事前に指定した箇所を予習してください。(1時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	13	統合理解				事前に指定した箇所を予習してください。(1時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	14	模擬問題				事前に指定した箇所を予習してください。(1時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
	15	模擬試験第2回				事前に指定した箇所を予習してください。(1時間) 学習した箇所を復習してください。(0.5時間)	
評価方法	(1)授業の中で確認テストを実施する。(2)定期試験(リスニング)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	確認テスト	◎	◎		○		50%
履修上の注意	各自、音声教材をダウンロードするなど、予習復習ができる環境を作ってください。						

科目名	会話中上級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	村上陽子		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年)1年						
授業概要	留学生が実際に会おう可能性の高い場面や状況を使い、会話の練習を行う。ロールプレイを行うことで、自分に何が足りなかったのか、どんな言語知識が必要だったのか学生自身が気づき、場面に応じた課題達成言語能力を伸ばすことを目的とする。						
授業形態	講義:	○	演習:		実習:		
				実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		学校・職場・地域などの生活場面において、日本語での自然な会話ができる	
	○	○		○		場面に応じた言語表現を正しく使用することができる	
	○	○		○		対人関係や物事の処理をスムーズに運ぶために役立つ日本事情が理解できる	
	○	○		○		正しい日本語のアクセント・イントネーションで発音することができる	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容				授業外学修指示	
	1	社会のトレンド				習った会話を復習する。(0.5時間) また、実際の場面で積極的に使ってみる。	
	2	日本と母国の違い				習った会話を復習する。(0.5時間) また、実際の場面で積極的に使ってみる。	
	3	SNS				習った会話を復習する。(0.5時間) また、実際の場面で積極的に使ってみる。	
	4	学生時代の思い出				習った会話を復習する。(0.5時間) また、実際の場面で積極的に使ってみる。	
	5	意見を述べる①				習った会話を復習する。(0.5時間) また、実際の場面で積極的に使ってみる。	
	6	意見を述べる②				習った会話を復習する。(0.5時間) また、実際の場面で積極的に使ってみる。	
	7	ディベート①				習った会話を復習する。(0.5時間) また、実際の場面で積極的に使ってみる。	
	8	ディベート②				習った会話を復習する。(0.5時間) また、実際の場面で積極的に使ってみる。	
	9	面接①				習った会話を復習する。(0.5時間) また、実際の場面で積極的に使ってみる。	
	10	面接②				習った会話を復習する。(0.5時間) また、実際の場面で積極的に使ってみる。	
	11	漫画で話そう				習った会話を復習する。(0.5時間) また、実際の場面で積極的に使ってみる。	
	12	映画で話そう				習った会話を復習する。(0.5時間) また、実際の場面で積極的に使ってみる。	
	13	調べたことを発表する①				習った会話を復習する。(0.5時間) また、実際の場面で積極的に使ってみる。	
	14	調べたことを発表する②				習った会話を復習する。(0.5時間) また、実際の場面で積極的に使ってみる。	
	15	1年間の思い出				習った会話を復習する。(0.5時間) また、実際の場面で積極的に使ってみる。	
評価方法	(1)会話作成・発表(積極性・内容) (2)確認テスト(口頭) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	会話作成・発表	◎	◎		○		50%
	確認テスト	◎	◎		○		50%
履修上の注意							

科目名	作文中上級						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	16時間	担当者	村上陽子		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年)1年						
授業概要	社会的なテーマについて視野を広げ、自分の意見を論理的に書けるようになることを目指す。 社会的なテーマについて、クラスで意見を交わすことで、視野を広げる。						
授業形態	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他		
	○	○		○	社会的なテーマについて検討し、自分の意見を書くことができる。		
	○	○		○	理由を述べながら、自分の意見を書くことができる。		
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	意見文の書き方			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	2	賛成・反対			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	3	将来予測			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	4	比較			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	5	新聞記事			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	6	俳句			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	7	メール			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
	8	留学生生活を振り返って			授業終了時に示す課題について作文を書くこと(1時間)		
評価方法	(1)宿題を数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
	宿題	◎	◎		○		50%
履修上の注意							

科目名	文字語彙中上級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	村上陽子		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年)1年						
授業概要	日本語能力試験N1の問題を数多く解くことで、試験の傾向や特徴をつかみ、N1に合格できる語彙力を養成する。						
授業形態	講義:	○	演習:		実習:		
				実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		漢字の読み方・書き方がわかる。	
	○	○		○		派生語や複合語を覚えて、使うことができる。	
	○	○		○		文に合った適切な言葉を選ぶことができる。	
	○	○		○		ある言葉や表現と意味的に近い言葉や表現を覚え、使うことができる。	
	○	○		○		ある語が文の中でどのように使われるか理解し、使うことができる。	
テキスト・教材 参考図書	松浦真理子 鈴木健司 監修 『日本語パワードリルN1文字・語彙』 アスク出版 2010年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	「日本語パワードリルN1文字語彙」1・2			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	2	「日本語パワードリルN1文字語彙」3・4			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	3	「日本語パワードリルN1文字語彙」5・6			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	4	「日本語パワードリルN1文字語彙」7・8			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	5	「日本語パワードリルN1文字語彙」9・10			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	6	「日本語パワードリルN1文字語彙」11・12			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	7	「日本語パワードリルN1文字語彙」13・14			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	8	「日本語パワードリルN1文字語彙」15・16			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	9	「日本語パワードリルN1文字語彙」17・18			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	10	「日本語パワードリルN1文字語彙」19・20			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	11	「日本語パワードリルN1文字語彙」21・22			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	12	「日本語パワードリルN1文字語彙」23・24			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	13	「日本語パワードリルN1文字語彙」25・26			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	14	「日本語パワードリルN1文字語彙」27・28			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
15	「日本語パワードリルN1文字語彙」29・30			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)			
評価方法	(1)授業の中で小テストを数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
小テスト	◎	◎		○		50%	
履修上の注意							

科目名	文法中上級						
科目名(英)							
単位数	2単位	時間数	30時間	担当者	村上陽子		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年)1年						
授業概要	日本語能力試験N1の問題を数多く解くことで、試験の傾向や特徴をつかみ、N1に合格できる文法力を養成する。						
授業形態	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		漢字の読み方・書き方がわかる。	
	○	○		○		派生語や複合語を覚えて、使うことができる。	
	○	○		○		文に合った適切な言葉を選ぶことができる。	
	○	○		○		ある言葉や表現と意味的に近い言葉や表現を覚え、使うことができる。	
	○	○		○		ある語が文の中でどのように使われるか理解し、使うことができる。	
テキスト・教材 参考図書	松浦真理子 鈴木健司 監修 『日本語パワードリルN1文法』 アスク出版 2010年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	「日本語パワードリルN1文法」1・2			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	2	「日本語パワードリルN1文法」3・4			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	3	「日本語パワードリルN1文法」5・6			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	4	「日本語パワードリルN1文法」7・8			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	5	「日本語パワードリルN1文法」9・10			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	6	「日本語パワードリルN1文法」11・12			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	7	「日本語パワードリルN1文法」13・14			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	8	「日本語パワードリルN1文法」15・16			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	9	「日本語パワードリルN1文法」17・18			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	10	「日本語パワードリルN1文法」19・20			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	11	「日本語パワードリルN1文法」21・22			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	12	「日本語パワードリルN1文法」23・24			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	13	「日本語パワードリルN1文法」25・26			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
	14	「日本語パワードリルN1文法」27・28			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)		
15	「日本語パワードリルN1文法」29・30			教科書の該当範囲を事前に読み、わからない用語等は調べておくこと。(1時間)			
評価方法	(1)授業の中で小テストを数回実施する。(2)定期試験(筆記)を実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	定期試験	◎	◎				50%
小テスト	◎	◎		○		50%	
履修上の注意							

科目名	日本事情Ⅱ						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	16時間	担当者	村上陽子		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年)1年						
授業概要	基本的なレベルの日本の地理・歴史・風習・大衆文化・伝統文化などについて学生が主体となって調べ、発表する。						
授業形態	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語情報	知的技能	運動技能	態度意欲	その他	目標	
	○	○		○		興味を持ったことについてネットなどで調べることができる。	
	○	○		○		調べたことを分かりやすくみんなに伝えることができる。	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	日本のマナー			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	2	ポップカルチャー			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	3	茶道			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	4	日本の地理			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	5	日本語			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	6	日本の歴史			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	7	日本の有名人			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	8	最近のニュース			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
評価方法	(1)授業への参加状況(事前学習、事後学習を含む) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、R(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題	◎	◎		◎		100%
履修上の注意							

科目名	GCB入門						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	16時間	担当者	村上陽子		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年)1年						
授業概要	麻生のGCB教育の入門編として、感謝の心を持ち、積極的に行動し、良好な人間関係を構築できるようになることを目指します。						
授業形態	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○		○		感謝と思いやりの心を持ち、熱意と情熱を持って課題に取り組むことができる。	
	○	○		○		相手の立場や考え方の違いを理解し、その差異を肯定的に受け止められる。	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	世界がもし100人の村だったら			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	2	FISH哲学			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	3	江戸しぐさ			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	4	マナー(相手に不快感を与えない)			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	5	マナー(相手への敬意)			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	6	良い習慣			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	7	本当の思いやりとは			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	8	私の志			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
評価方法	(1)授業への参加状況(事前学習、事後学習を含む) 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、R(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題	◎	◎		◎		100%
履修上の注意							

科目名	ビジネス日本語入門						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	16時間	担当者	村上陽子		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年)1年						
授業概要	日本でのビジネスに必要な基本的なこと(敬語表現、ビジネスマナーなど)を身につけることを目標とする。						
授業形態	講義: ○	演習:	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○		○		ビジネスの場面において良い人間関係を築くことができる。	
	○	○		○		ビジネスの場面においてスムーズに業務が行える。	
テキスト・教材 参考図書	宮崎道子他 『にほんごで働く! ビジネス日本語30時間』 スリーエーネットワーク 2009年						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	紹介する			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	2	あいさつをする			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	3	電話をかける・受ける			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	4	注意をする・注意を受ける			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	5	頼む・断る			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	6	許可をもらう			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	7	アポイントをとる			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	8	訪問する			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
評価方法	(1)課題を数回実施する。 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	課題	◎	◎		◎		100%
履修上の注意							

科目名	プロジェクトワーク						
科目名(英)							
単位数	1単位	時間数	16時間	担当者	村上陽子		
実施年度	2023年度	実施時期	後期	担当者実務経験			
対象学科・学年	日本語科(1年)1年						
授業概要	これまで学んできた日本語を使って、自分たちでテーマを決め、アンケートを作成し、結果をまとめて発表するまで行う。						
授業形態	講義:	演習: ○	実習:	実技:	※ 主たる形態:○ その他:△		
学習目標 (到達目標)	言語 情報	知的 技能	運動 技能	態度 意欲	その他	目標	
	○	○		○		クラスメートと協働し、一連の課題をこなすことができる。	
	○	○		○		学んだ日本語を生かし、正確で適切な語彙や表現を使って発表することができる。	
テキスト・教材 参考図書	なし						
授業計画	回数	授業項目・内容			授業外学修指示		
	1	テーマを決める			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	2	アンケート項目の作成			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	3	アンケート作成			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	4	グラフの読み方と発表の仕方			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	5	アンケート結果をまとめる			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	6	PPTと原稿作成			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	7	発表練習			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
	8	発表と質疑応答			授業終了後の課題を行うこと。(30分)		
評価方法	(1)発表 以上を下記の観点・割合で評価する。 成績評価基準は、S(90点以上)・A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。						
		言語情報	知的技能	運動技能	態度・意欲	その他	評価割合
	発表	◎	◎		◎		100%
履修上の注意							